

二〇一六年度

富山大学人文学部私費外国人留学生入試

小論文

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、試験問題を開かないこと。
- 二 試験問題は二枚、解答用紙は二枚、下書き用紙は二枚である。
試験開始の合図があつてから確認すること。
なお、試験問題および解答用紙に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 三 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
- 四 解答は日本語で書くこと。
- 五 解答は指定された解答用紙に記入すること。指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 六 配布された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
28. 2. 25
富山大学

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権処理の関係上
公表することができません。

この部分に記載されている文章については、著作権処理の関係上
公表することができません。

(藤原辰史「イカの踊り食い」体験『朝日新聞』二〇一五年二月二日「つれづれ彩時
記」より。一部改めた箇所がある)

(注1)「サディズム」は、他者を精神的・肉体的に痛めつけることにより満足を得る性癖という意味。

(注2)「言祝ぐ」ことほは、祝うという意味。

(注3)「嚥下する」えんげは、飲みくだすという意味。

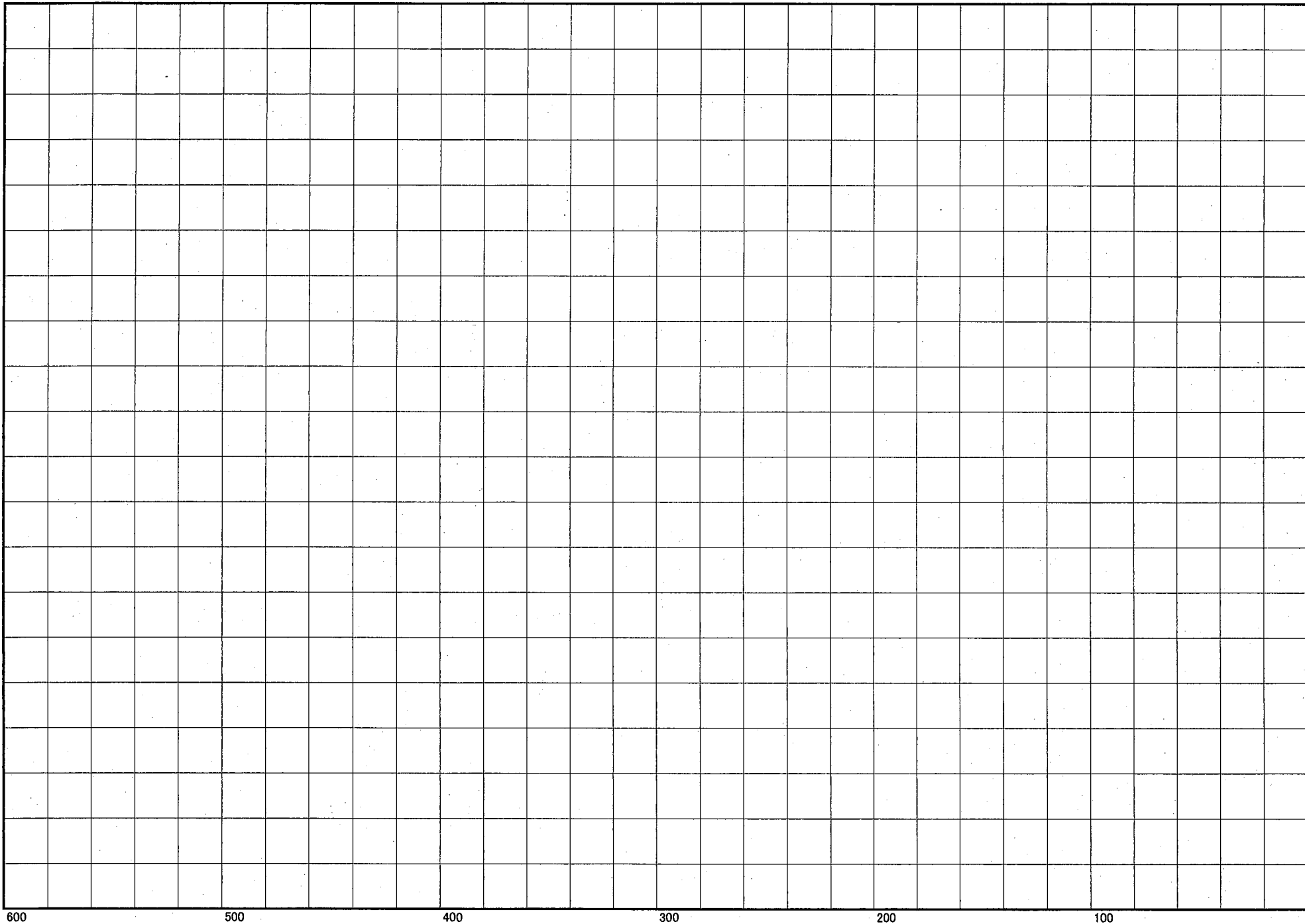
問一 イカの踊り食いとはなにかを説明したうえで、それを通して筆者が学んだ二つのことを、あ
なた自身のことばで述べなさい。(二〇〇字以内)。

問二 食べるとはどのようなことなのか、筆者の意見と比較しながら論じなさい。必要に応じて、
あなた自身の食体験の具体例をあげてもかまいません。(六〇〇字以内)。

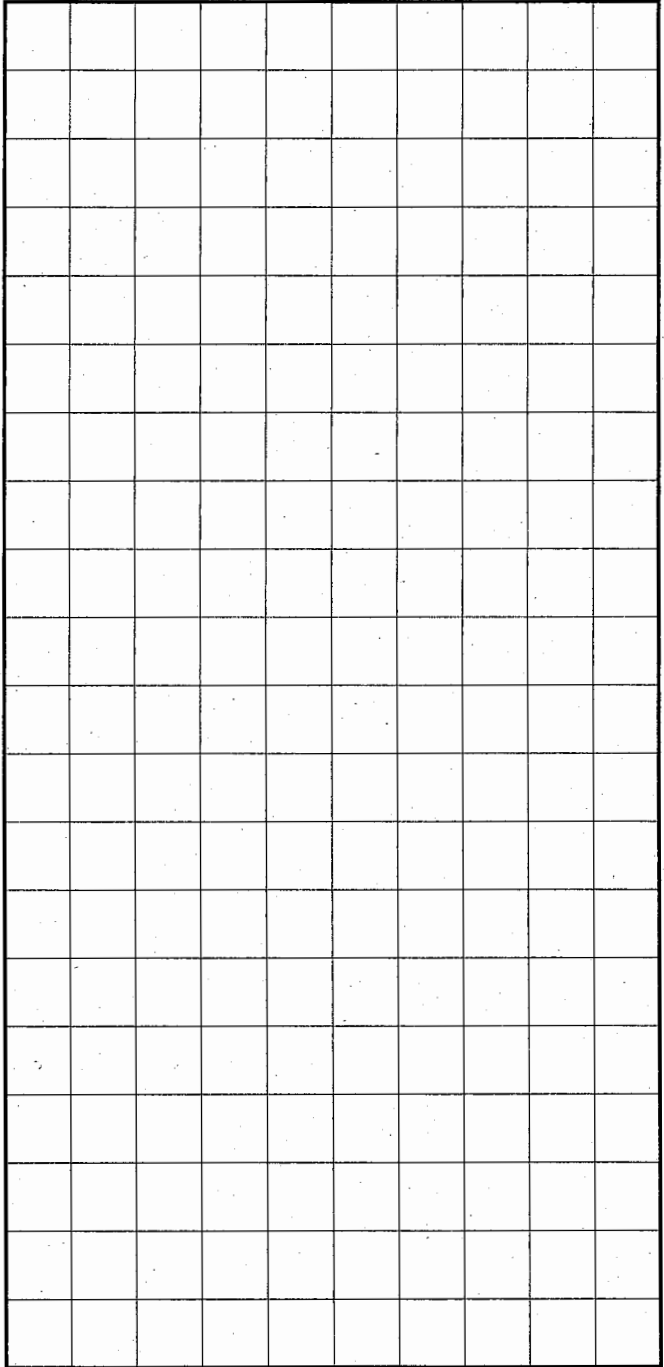
問二 解答用紙

問二

受験番号
.....



下書き用紙（この用紙は提出できません）



下書き用紙（この用紙は提出できません）

